

# 学 生 生 活 関 係

## 1. 指導教員

皆さんが有意義な学生生活が送れるように、単位修得・厚生・保健・一身上の問題・研究上の問題等皆さんを取り巻く種々の問題について、指導教員（または学生生活委員）が相談に応じますので指導や助言を受けてください。指導教員の割振は入学時に通知します。なお、**1～3年次生（薬学科は1～4年次生）の指導教員は入学時に通知した教員，4年次生（薬学科は5年次生）以降の指導教員は卒業論文実習担当教員とします。**

## 2. 掲 示

掲示板が大学から皆さんへの公式の通知手段です。

登校したら、まず掲示を見ることから大学での生活が始まります。大学からの諸君への通知・連絡は、直接口頭で伝達する以外はすべてこの掲示板で行います。したがって、**掲示した事項については、諸君に浸透したものとして取り扱います**ので、特に授業・試験・成績等履修上の事項については、十分注意してください。

掲示に注意しなかったために不都合を生じ、大きな不利益を被るのは諸君自身であることを心に留めておいてください。掲示を見なかったことを理由に、責任を免れることはできません。

登・下校時に掲示を見る習慣をつけてください。友人が病気などのために登校できないときは、代って見てあげるような友情があって欲しいものです。

また、薬学部では、専門教育科目について、休講・補講等の掲示物の一部をデジタル化し、携帯電話やPCから閲覧可能にしています。詳しくは、下記の携帯閲覧サイトにて確認してください。使用方法の詳細については、1階廊下南側にある「薬学部学生・教員FD検討会」の掲示板を参照してください。

デジタル掲示板（Stork）：<http://pharm.okayama-u.ac.jp/system/stork/>

## 3. 学生旅客運賃割引証

学生旅客運賃割引証（学割証）は、自動発行機による学割証の発行ができます。直ちに発行できますので、大学会館玄関ホールに設置してある自動発行機を利用してください。学割証は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度ですのでその発行は、原則として次の目的をもって旅行する必要があると認められた場合に限りま

- (1) 休暇・所用による帰省
- (2) 実験・実習などの正課の教育活動
- (3) 学校が認めた特別教育活動または、体育・文化に関する正課外の教育活動
- (4) 就職または、進学のための受験等
- (5) 学校が修学上適当と認めた見学または行事への参加
- (6) 傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理
- (7) 保護者の旅行への随行

学割の発行枚数は、年間原則として10枚以内ですので計画を立てて使用してください。

## 4. 諸証明書

在学証明書、成績証明書、卒業見込証明書の発行は、大学会館玄関ホールに設置してある自動発

行機を利用してください。

証明書の郵送を希望するときは、宛先明記の返信用封筒（120円切手貼付）を添えて「岡山大学薬学部教務学生係（〒700-8525 岡山市津島中 1-1-1）」に申し込んでください。

## 5. 学生集会及び学生掲示

学部内において集会又は掲示をしようとする場合は「学部共通細則」・「学部共通細則取扱内規」によるほか、次の点に注意してください。

### (1) 集会について

開催日の2日前までに所定の用紙により教務学生係を通じて学部長に願い出てください。

（届出用紙は教務学生係にあります。）

講義室等を使用した場合は、特に下記の事項を厳守してください。

- ・使用後は備品等の整理，戸締りを厳重にし，特に火気に留意すること
- ・使用後の確認を終えたら，直ちにその旨を教務学生係に連絡すること

### (2) 掲示について

所定の掲示板に掲示してください。

届出印のない掲示物は撤去することがあります。

## 6. 学生ロッカールームについて

3年次生には、実習期間中及び授業中における着替えその他不要荷物等を保管するため、2階ロッカー室に各人のロッカーを貸与し、使用できるようにしています。

ロッカー使用に当たっては、特に火災、盗難に注意してください。

## 7. 学外からの呼び出し

学外からの電話による呼び出しを依頼されることがありますが、一人一人の居場所について把握できません。従って、**大学では、電話口への取り次ぎは行いません。**この点をあらかじめ承知し、家族や友人に知らせておいてください。

## 8. 就職について

就職は、学生諸君の将来に取り重大な問題であるので、指導教員、近親者、先輩等に相談し、慎重に検討し、選択してください。

なお、就職についての事務的な手続きは教務学生係で行います。就職に関する必要書類は、求人先により若干異なりますが、あらかじめ次のものを準備しておいてください。

- (1) 履 歴 書（市販用紙ペン書）
- (2) 写 真（名刺型）
- (3) 健康診断書（保健環境センターに作成してもらう。）

## 9. その他

大学の学生が教育研究活動中に不慮の事故によって本人が被った傷害や他人に与えた損害に対する全国的規模の統一的救済制度として、学生教育研究災害傷害保険制度等の保険制度がありますので、必ず加入してください。

# 3. 学生支援センター学生相談室

## 1. 【学生相談室では何をしているの?】

学生相談室では、専任教員やカウンセラー、相談協力委員の教員、ピアサポーター（学生ボランティア）が、皆様のさまざまな悩みや葛藤の相談に応じています。

大学生活を送るなかで、修学上の問題、友人や教員との人間関係の問題、個人的な問題などで悩んだり葛藤を感じたりすることもあると思います。そうした悩みの多くは、家族や友人に相談して解決することでしょう。しかし、誰に相談すればよいかわからない、家族や友人には相談しづらい、家族や友人に相談しても解決しなかった、そのように感じたときは気軽に学生相談室を利用して下さい。一人で悩まないで、学生相談室のドアをノックして下さい。

**\*相談された内容の秘密は厳守します。どうぞ安心して利用して下さい。**

## 2. 【学生はどのような相談をしているの?】

学生の相談内容はさまざまです。相談内容の例をいくつか挙げてみましょう。

- ・ 勉学の意欲がわからない、専攻分野が合わない、学部・学科をかわりたい、休学したい、将来の進路のこと。
- ・ 友人関係で悩んでいる、自分の性格のこと。
- ・ セクシュアルハラスメント、ストーカー行為。
- ・ 指導教員との関係、アカデミックハラスメント。
- ・ 宗教的な勧誘、悪徳商法で困っている。
- ・ 障がいのある学生の修学支援サービスに関すること。
- ・ ボランティア活動に関すること。 …など。

「とくに悩みはないけど・・・」という人も訪ねてきます。

## 3. 【どこにいけば相談できるの?】

相談の受付場所は、津島キャンパスの学生相談室と何でも相談窓口、鹿田キャンパスの学生支援センター鹿田室の3箇所があります。みなさんが利用しやすいところを訪ねてください。電話やメール、手紙でも相談を受け付けています。

**開室は土日祝を除く毎日です。予約を優先します。**

但し、手紙による相談は下記住所にお願いします。

〔宛先〕 〒700-8530 岡山市津島中 2-1-1  
岡山大学学生支援センター学生相談室

## 【学生相談室】-津島キャンパス-

①開室時間 10:00~12:00/13:00~17:00

②受付場所 一般教育棟D新棟 1階

③連絡先〔電話〕 086-251-7169

〔E-mail〕 nayami@cc.okayama-u.ac.jp

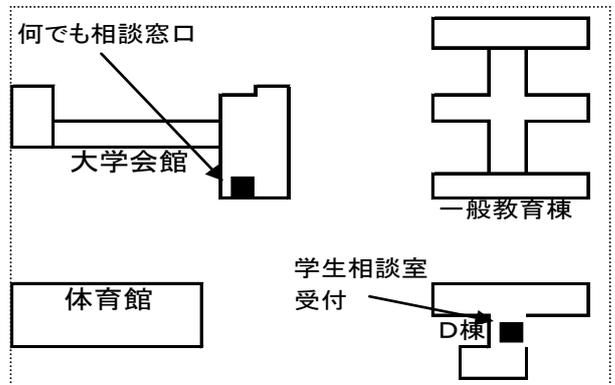
## 【何でも相談窓口】-津島キャンパス-

①開室時間 8:30~12:00/13:00~17:15

②場所 大学会館 1階南側（学務部内）

③連絡先〔電話〕 086-251-7182

地図 〔E-mail〕 nayami@cc.okayama-u.ac.jp



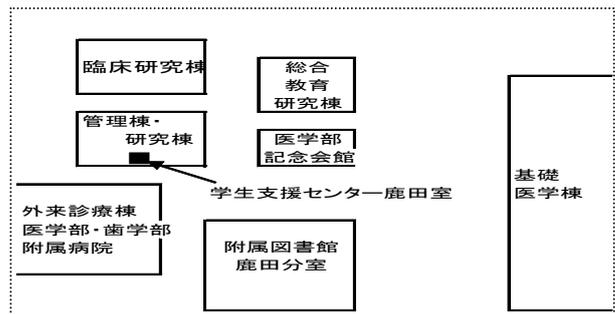
## 【学生支援センター鹿田室】-鹿田キャンパス-

①開室時間 10:30~12:00/13:00~17:30

②場所 管理棟 2階（学務課内）

③連絡先〔電話〕 086-235-6589

地図 〔E-mail〕 nayami-2@cc.okayama-u.ac.jp



## 4. 【学生相談室のことをもっと知るには?】

学生相談室のホームページ(下記アドレス)があります。学生相談室のスタッフや「学生相談室だより」などが掲載されていますので、是非ご覧下さい。

岡山大学のホームページに掲載しています。

<http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/soudan/index.html>

## 安全についての心得

### はじめに

#### 1. 初心者の心得

新入生の皆さんは、先生や先輩の教えに従い、大学での生活に一日も早く慣れるように心掛ける必要があります。

- (1) 実験機器、工具及び器具等は、構造や機能・性能をよく理解し、操作方法を習熟してから操作する。同時に共同で使用するものであるので大切に使用する。
- (2) 小さなことでも、不審な点や分からないことがあったら先生や先輩に尋ねること。勝手な判断や早合点はケガのもととなるので、十分注意するべきである。
- (3) 慣れてくると、緩みがちとなるので、適度な緊張感を持ち続けて行動するよう心掛ける。

#### 2. 火災について

火災が一度発生すると、人身事故につながる危険性が高く、建物や設備にも大損害をもたらすこととなります。火気を不用意に扱ったり、燃料や設備器具の正しい取扱いを知らなかったり、また、知っていても適切な操作をしなかったために引き起こした火災の例は非常に多いです。

大学でも、実験室等で火災が発生し、建物や実験機器・機械設備はもとより、長年苦勞して作成した研究データ等をも、一瞬にして灰にしてしまったという残念な例が数多く報告されています。

これらの火災を繰り返し発生させないためにも、日頃から各自が責任を持って十分注意しなければなりません。

#### 3. 健康管理

健康な体や心は短期間に作られるものではなく、普段からの自己管理が続けられてこそ、その効果が現れてきます。また、適度な休養は、病気を防ぐ安全弁であり、疲労を早め早めに取り除くのが病気を防ぐ第一歩です。

健康管理の5ポイント

- (1) 規則正しい生活
- (2) 十分な睡眠と休養
- (3) バランスの取れた食事
- (4) 適度の運動
- (5) 趣味、娯楽等による気分転換

#### 4. 健康診断

健康は、学生生活を続ける上で非常に大切ですので、普段からの健康管理が必要です。健康を維持するには、適切な自己管理を行いながら、定期的に健康診断を受けることが必要であり、万一病気になった時は、早期治療が大切です。

本学では、保健環境センター保健部門において、年1回（春）の定期健康診断が行われるので、毎年必ず受診してください。特に、薬学科における病院や薬局での実務実習に臨む際には、実習生である皆さんが健康であることが求められます。

また、保健環境センター保健部門では、医師、保健師、栄養士による健康相談を行っていますので、利用すると良いでしょう。

（詳細については、保健環境センター保健部門にお問い合わせください。Tel 086-251-7189, 7222）

## 5. 人身事故が起こったら

学内で事故のあったとき又はその場に遭遇したときは、慌てずその状況を的確に判断し、応急手当等施した後、保健環境センター保健部門に急行するか、「119」番で救急車を呼んでください。同時に、学生支援課や大学の守衛所へ連絡してください。

〔保健環境センター保健部門等の利用方法〕

下記に電話をかけ、事故及び事故者の状況を告げ、指示を受けてください。

・保健環境センター保健部門 Tel 086-251-7189, 7222

・学生支援課 Tel 086-251-7179

月曜日から金曜日は、午前8時半から午後5時まで

土・日曜日は、休み

・大学の守衛所（夜間も可） Tel 086-251-7096

## ◎薬学部近辺の病院又は医院等

### 救急病院

済生会総合病院	伊福町1-17-18	(Tel 086-252-2211)
いしま病院	伊島町2-1-32	(Tel 086-255-0111)
岡山市休日夜間急患診療所	東中央町3-14	(Tel 086-225-2225)
辻眼科医院	奉還町1-2-5	(Tel 086-252-0943)
田中耳鼻咽喉科医院	伊島町1-8-23	(Tel 086-254-9448)
難波皮膚科	津島南1-1-12	(Tel 086-252-3389)
岡北整形外科	津島東2-7-1	(Tel 086-255-0777)
学南耳鼻咽喉科	学南町2-4-50	(Tel 086-251-0633)
間野眼科	絵図町5-1	(Tel 086-255-0217)
つしまクリニック	津島新野1-2-23	(Tel 086-251-3388)
ほそたにクリニック	津島南2-5-25	(Tel 086-251-1100)